



連続シンポジウム

巨大災害から生命と国土を護る ―二十四学会からの発信―

第二回 大災害の発生を前提として国土政策をどう見直すか

二十四学会が集結して、東日本大震災に対する反省と今後の抜本的な見直しに際し、学会の壁を越えて、本質的な議論を展開する連続シンポジウムを行います

日時…平成二十四年一月十八日(水) 午後二時から午後五時三十分 入場無料
会場…日本学術会議講堂(東京都港区六本木七丁目三十二番地三十四号)
(東京メトロ千代田線 乃木坂駅出口5)

主催…日本学術会議 土木工学・建築学委員会、東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

プログラム

14:00-14:15

司会 目黒公郎(日本学術会議連携会員、東京大学教授)
挨拶 和田 章(日本学術会議会員、土木工学・建築学委員会委員長、東京工業大学名誉教授)

14:15-15:45

第一部 基調講演

伊藤 滋(東京大学名誉教授、元 日本都市計画学会会長)
中村英夫(東京都市大学長、東京大学名誉教授、元 土木学会会長)
岸井隆幸(日本大学教授、日本都市計画学会会長)

16:00-17:30

第二部 パネルディスカッション

コーディネータ

米田雅子(慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員)

パネリスト

基調講演者3名に加えて

嘉門雅史(香川高等専門学校長・京都大学名誉教授、日本学術会議会員)

依田照彦(早稲田大学教授、日本学術会議会員)

連続シンポジウム(予告)

平成24年2月開催 第3回 減災社会をどう実現するか

今後のテーマ(検討中)

「首都直下地震、東海地震等の巨大地震と津波に、今日どう備えるか」
「大震災を契機に地域・まちづくりのあり方を考える」
「地盤災害の軽減のために何が必要か」
「原子力発電の安全性をどう評価するか」
「大震災発生時の教訓と記録をどう伝えるか」等

申込先: 参加希望(第2回)と明記し、所属、氏名、所属学会名とともに
メールでお申込下さい Email: sympo.ndm@gmail.com

問い合わせ先: 早稲田大学准教授 小玉 乃理子 Email: kodama@aoni.waseda.jp

東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会

(議長 和田 章)

東日本大震災を受け、日本の国土・社会・産業基盤に関わる二十四の学会が集まり、平成二十三年五月に結成。従来の専門分化した学会のあり方を見直し、学会間の本質的な議論と交流を深めることにより、今後の我が国の学術の方向と基本政策を提言することをめざす。

環境システム計測制御学会、空気調和・衛生工学会、
こども環境学会、地盤工学会、地域安全学会、
地理情報システム学会、土木学会、日本応用地質学会、
日本機械学会、日本建築学会、日本原子力学会、
日本コンクリート工学会、日本災害情報学会、
日本地震学会、日本地震工学会、日本自然災害学会、
日本水産学会、日本造園学会、日本地域経済学会、
日本都市計画学会、日本水環境学会、農業農村工学会、
廃棄物資源循環学会

